

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (沖縄)	◎	一般小売店〔土産〕（営業部長）	・大型レジャー施設開業に伴う7月以降の観光客の増加による土産の売上増加が見込まれる。
	◎	コンビニ（店長）	・夏休みに入り、インバウンドや県外観光客の増加が見込まれる。学校が休みの間は給食もないため、中食需要も増える。周辺施設のイベント等の影響で、集客が期待できる。
	◎	その他専門店〔陶器〕（製造）	・夏が来るため、需要も増加するとみている。
	◎	観光型ホテル（企画担当）	・6月の販売室数が前年比27%減少なのに対し、6月末時点での9月の予約室数は前年比27%増加となり、プラスに転じている。
	○	百貨店（経営担当）	・夏休み期間の家族連れによる来店増や、旧盆により需要が増加するとみている。
	○	スーパー（企画担当）	・2～3か月後の景気はやや良くなるとみられる。政府による電気・ガス料金の補助が7月から3か月間実施されること、夏休み期間の観光需要が見込まれること、そして大型レジャー施設の開業を迎えることが主な理由とみている。
	○	コンビニ（経営者）	・夏場の忙しい時期に入るため、今後の売上が期待できる。
	○	家電量販店（営業担当）	・前年の省エネ家電買換えキャンペーンの反動による影響が少なくなるとみている。
	○	乗用車販売店（経理担当）	・商品の供給量が高い水準で維持される見込みである。
	○	その他専門店〔書籍〕（部長）	・大型レジャー施設開業の影響が大きいとみられる。交通問題はあがるが、県外客には余り影響がないとみている。
	○	一般レストラン（代表者）	・観光客の増加を期待している。
	○	観光型ホテル（総支配人）	・例年より早い梅雨明けによるレジャー需要の増加を期待している。更に、大型レジャー施設開業による滞在日数伸長を期待している。
	○	通信会社（サービス担当）	・端末割引の上限変更など実質的に購入しやすい環境が整いつつあるとみられる。
	○	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの受注状況は前年を上回り好調に推移しており、特に個人の動きは早く伸長している。今後もこの傾向は続くともみられる。
	□	商店街（代表者）	・街中は、飲食業が多くなっており、物販業が段々と減っているため、3か月で変化はないとみている。
	□	スーパー（店舗管理）	・全国的な異常気象は、夏野菜の価格高騰につながるとみている。青果部門を集客の目玉として位置づけているため、販売促進や営業利益に大きく影響が出てくるとみている。一方、本来ならば、やや悪くなるとの回答であるが、大型レジャー施設開業による観光客、インバウンド需要の増加を期待して現状維持としている。
	□	コンビニ（経営企画担当）	・かなり好調に推移しているため、現状が少なくとも8月までは続くと思込んでいる。
	□	衣料品専門店（経営者）	・例年6月は、売上の悪い時期ではあるが、想定以上に悪い状態である。これからのセールで売上アップを期待している。
	□	旅行代理店（マネージャー）	・人手不足や旅行素材の高単価が続いており、ある程度余裕のある人しか旅行ができなくなっている。
	□	住宅販売会社（役員）	・県外需要は伸びている反面、価格の高騰に対し賃上げが追いついていない状態が続くとみられる。
企業動向 関連 (沖縄)	□	住宅販売会社（営業担当）	・顧客の住宅動向、建売物件への問合せを含めて、好調が維持されるとみている。
	▲	通信会社（営業担当）	・現在の販売状況を踏まえても、良くなる材料がない。顧客は出費を抑えている。
	×	その他飲食店〔バー〕（経営者）	・物価が上がり、来客数も減少するなど、良くなる要因が見当たらない。
	◎	－	－
	○	食料品製造業（役員）	・今後は米価格の落ち着き、お中元に向けて需要の増加や観光シーズンに入るため、比例して食品の需要増加を期待している。
	○	建設業（経営者）	・物価高もあり、当社も賃上げを進めている。他社も給与アップをしていると聞いているため、全体的に景気は良くなるとみている。物価高に対して給与アップがどれぐらい追いついていけるかを見越しながら、売上の目標値も高く設定している。
	○	輸送業（総務経理担当）	・運賃交渉の成果が出るとみている。

	○	広告代理店（営業担当）	・県内中堅以上の企業では、攻めの経営に動き出している状況もあり、徐々にではあるが、販売促進費が増加する傾向にある。
	□	窯業土石業（取締役）	・売上は前期比増加が見込まれるが、原材料費、運搬費、人件費等コスト上昇分の価格転嫁が追い付かない状況で収益の低下を懸念している。
	□	会計事務所（所長）	・物価高の影響もあり、7月の参議院選挙、米国関税など国際情勢に影響される度合いが大きくなるとみている。
	▲	—	—
	×	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	・夏休みにあわせて、2027年卒向けのインターンシップやオープンカンパニーが多く行われる時期である。学校への案内以外にもナビサイトなどに掲載されている案内から、多くの学生が参加することが見込まれる。
	□	人材派遣会社（経営者）	・夏場の需要増加は一時的なもので、積極的な業務拡大等は余りみられないため、派遣も現状のまま推移するとみられる。
	□	求人情報誌製作会社（審査）	・求人数に大きな変化はみられないが、夏休みや観光の繁忙期を見据え、短期雇用ニーズの高まりから、観光地でのアルバイトを中心とした求人数が微増する動きに期待している。現場では、即戦力や短期アルバイト可能な人材確保を目的とした採用活動が徐々に活発化するとみている。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	・物価高騰はしばらく続くとみている。
	▲	—	—
	×	—	—